

平成18年11月20日発行

第151号

発行/高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32
事務局 ☎ 3317-6614

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

セシオン

高円寺地域区民センター報

ふれあい

http://koenjiunkyo.web.infoseek.co.jp



マリクリステイヌの講演会



☆講演会テーマ

「女性の社会参加・ 男性の家庭参加」

開催日時：平成18年12月10日(日)
午後1時30分～3時

会場 高円寺地域区民センター(セシオン杉並)
3階8・9・10集会室

定員 100名(参加費無料)

応募方法 往復はがきに(2名まで連記可)

①行事名 ②住所③氏名(フリガナ)④年齢
⑤電話番号をご記入の上、ご送付ください

応募先 高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32
TEL 03-3317-6614

締切日 平成18年11月27日(月)必着

あわてんぼうのクリスマス会



日時：12月2日(土)午後1時～3時
場所：和田区民集会所(住所)和田2-31-21
和田小学校 体育館

内容：中学生ハンドベル・親獅子バンド・腹話術・ゲーム
お土産：ケーキ・わた飴・お餅を差し上げます
お土産は、申し込み対象者のお子様のみ

申込方法：往復ハガキに 1)イベント名 2)住所 3)氏名
4)年齢を記入の上、申込み下さい。
(未就学児は、同伴保護者名も記入。2名連記可)

申込先：高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32

締切日：11月21日(火) 必着
対象者：3歳以上小学生まで
未就学児は、保護者同伴



クリスマス会2006

臨時総会を終えて



平成十八年十月十七日(火)「高円寺地域区民センター」に於いて、臨時総会が開催され、高円寺地域集会施設運営協議会の新委員十六名が、町会・商店会連合会、青少年育成委員会及び一般公募から選出承認され、再任委員十六名合計三十二名で新たな船出を致しました。
また、任期満了で退任された委員四名の方々には、四年間のご苦労に報いて、山田区長より感謝状が手渡されました。
横尾前会長からは「四年間全員が心を一つにして、地域の方々に喜びと楽しみを与えて頂いた委員の方々、裏方で縁の下の力持ちに徹して頂いた事務局の方々並びに行政の方々から感謝申し上げます。高円寺地域集会施設運営協議会の更なる発展を期待します」との言葉をいただきました。

セシオン杉並 9月23日(土) こどもまつエア 2006



ふれあい音楽会 10月14日(土)



コミュニティすくーる 原田講師のお話と地元明大落研の落語・漫才 10月31日(火)



★次号発行は
1月20日予定です。

<p>広報部 ◎岩船 守男 ○三上 典子 須賀田 正泰 森 孝夫 勝山 英恵</p>	<p>総務部 ◎境 禎一 ○原田 光江 栗谷 義明 星川 律子 藤田 和子</p>	<p>会計監事 安藤 秀男 大久保 貞祐</p>	<p>副会長 岩船 守男 栗谷 義明</p>	<p>会長 秋澤 博之</p>	<p>☆委員の紹介 (◎印は部長) (○印は副部長) よろしくお願ひします</p>	<p>運営協議会 メンバー</p>	<p>副会長 横尾 信彦 笠原 紀一 池田 和子</p>	<p>総務部 永井 徹 関屋 友子 渡辺 昭南子 長塚 吉郎 田中 愛子</p>	<p>会計監事 奥野 友子</p>	<p>広報部 田中 愛子</p>	<p>文化部 木村 勝子 宮川 晃雄 三上 勝子</p>	<p>体育部 藤倉 香苗 前島 和子 中島 悦子</p>	<p>コミュニティ推進部 ◎井出 信子 ○武藤 由美子 ○榎本 和江 藤原 由輝子 渡辺 みどり 村松 一雄</p>	<p>文化部 ◎井口 尚之 ○松本 和子 ○櫻井 悠介 菊地 三佳 北沢 五百子 稲葉 正</p>	<p>体育部 ◎玉木 茂男 ○久田 照子 ○瀧澤 邦夫 狩野 栄一 伊藤 能子 澤本 弘子 藤原 輝子 奥澤 正子 北沢 五百子</p>	<p>和地区民集会所運営部(兼務) ◎久田 照子 ○原田 光江 藤原 輝子 奥澤 正子 北沢 五百子</p>
--	---	----------------------------------	--------------------------------	---------------------	---	-----------------------	--	--	-----------------------	----------------------	--	--	--	---	--	--

退任された皆さん
ご苦労様でした

Return slip form with columns for name, address, and phone number.

済美小学校は、明治40年創立の私立日本済美学校を由来としています。「済美」の名は「世々その美を濟してその名を頌さず」という中国古典からの文言を出典としており、区内小学校でただ一つ地名が校名にならなかった学校です。

本校は、東京メトロ有明駅から北西に約700メートルのところに位置します。すぐ近くには済美教育センター、済美養護学校、大宮小学校、大宮中学校、堀ノ内幼稚園、堀ノ内保育園等があり、何かの時には互いに助け合うこともしばしばです。



校舎全景

また、都心とは思えない緑豊かな環境に囲まれています。済美山自然林をはじめ、すぐそばを流れる善福寺川をさかのぼると、全校遠足で足

を伸ばす都立和田堀公園や善福寺緑地公園があります。また歴史ある大宮八幡神社や妙法寺なども学区に隣接しています。

◇**体育／食育学習の研究推進**
本校では、体育や食育の授業を通して体力の向上を図り健康な体づくりを進めています。

体育では、指導の工夫のみならず時にはゲストティーチャーの助けを借りるなどして、学習効果を高める工夫をしています。



食育の授業から「おこめのふしぎ」

さらに、休み時間を延長したり遊び場を広げたり、また体育集会の充実等により、運動の日常化を図っています。

食育では、野菜栽培や調理活動なども取り入れ、子ども達の食への関

心を高めると共に、行事に絡めた給食メニューの工夫例えば「運動会がんばろう給食など」、さらには給食試食会や講演会等を通して食育の大切さについて家庭や地域にも働きかけています。体育と食育を柱に、「健康な体を進んでつくる」とする子の「育成」に力を入れています。



環境学習の場「済美の森」

◇**自然環境を生かした環境学習**

本校の裏庭は「済美の森」と名づけられたミミズ雑木林です。近隣の自然環境と共に、四季を通して子ども達が自然環境を学習する恰好の場になっています。プール掃除前に実施する「ヤ」救出大作戦同様、ゲストティーチャーと共に自然に触れ、環境の大切さを学んでいます。また、高学年では全員キッズ・S.O.にも取り組んでいます。

◇**盛んな共同学習・交流活動**

本校では縦割りの異年齢集団を組織し、全校遠足に出かけたり児童集会でゲームをしたりと、地域社会で薄くなりつつあるかわりを補う場面を作っています。

また併設している「かしのみ学級」

晩秋を彩る武蔵野の風物

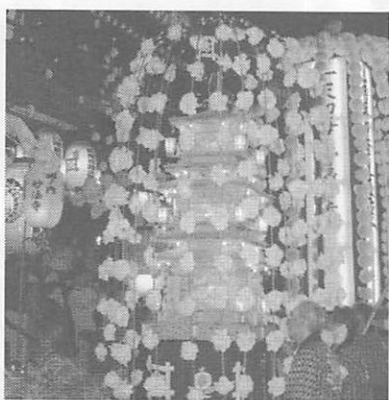
お会式 原田 弘

堀の内お祖師様のお会式、それも戦前の様子を思い出すままに書いてみました。

私の家は青梅街道沿いで、西武電車（旧都電）の車庫の斜め前あたりにありました。

お会式の日は十月十三日と決まっていた。その前日は池上の本門寺のお会式で、この日は日蓮聖人が池上でお亡くなりになった日なのです。（本年は七百二十五年遠忌になるそうです）

十三日夕食を食べ終るころから大通りの西方向つまり萩窪の方から遠雷のような太鼓の音が聞こえて来る。このお会式の日にはほとんどの職人衆の家では仕事を休んでいました。



やがて火消しの纏を先頭にその講に属する善男善女の一団がああ飾り万灯を押し立てて進行して来ます。皆

な太鼓を打ち「南無妙法蓮華経」とお題目を唱え、女性の方は鐘を鳴らしていたのが多かったような気がする。

大体この日蓮さんの命日で法事なのだが、喜びに満ち溢れた人々、エネルギー溢るような若者が纏をくるくる格好よく廻し、見物人を圧倒してい



く講の行進は、次から次とお祖師様目ざして行く。この日は西武電車はみな最速行、警官も短剣を吊った交通係総出であるし、今の消防団の団員や在郷軍人と云う軍隊経験者のメンバーなど大変なもの、そんな万灯行進の講の一隊があらゆる方向から講元という代表者を先頭にしてくる。私の家の横が旧高円寺三丁目と二丁目の境になるのだが、近くの祈禱所のおばあさんが万灯を先頭に若者の一隊を引率してくるその晴れ姿は立派なものでした。

あの独特の桜の花にたとえた万灯は聖人が小湊（千葉）で誕生の時、蓮の花が咲き、亡くなられた時は晩

秋にかかわらず桜が咲いたということかららしい。お題目と共に昔の人は「一貫三三どうでもい」と云ったと伝えられている。一日の大作の手間代で、仕事するより祖師に感謝してご利益を戴きたいということだ。

この行事を境に寒さは強まり人々は皆な冬支度に入るのである。お会式の日には綿入れを着たり赤ん坊などねんねこで風邪をひかせないようにしたものです。

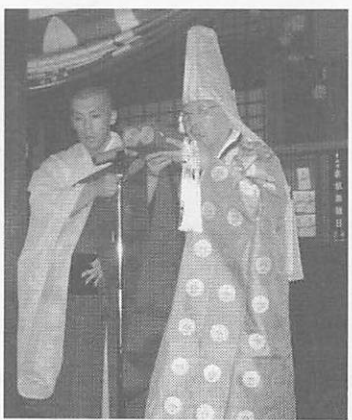
妙法寺道も今の様に環七がなかった時代なのでその混雑と云ったら、身動きも出来ない場所もあり一方通行をして整理しました。



周辺の「志から木」「花園」「大つた」など料理屋はかき入れ時で、客が二階に鈴なりで見物していたものです。

この様な騒ぎの内に夜もふけ祖師堂でお詣りを終えた講のグループが

原田 弘 氏
杉並郷土史学会会長・(元)日本歴史学会会員・杉並区文化財保護指導員・日本バンクラブ会員



ら解散して行きます。戦争の前の平和な武蔵野の風物誌の一つとして本当に懐かしい思い出となっています。



ゲストティーチャーと一緒に「タッチラグビー」

の子ども達と通常学級の子ども達は、共同学習等を通して、互いに認め合う仲間として育っています。

毎週木曜日の交流給食をはじめ、行事や学習での共同場面を可能な限り進めています。また、3年生は済美養護学校とも活発に交流活動を積み重ねるなど、自分と他者を共に大切にすることを育んでいます。

◇**子ども達に学習と体験の場を**
「夏休みせいび・わいわいランド」今年で3年目になった「夏休みせいび・わいわいランド」は、教職員・保護者・地域の方が得意分野で講師となり、子ども達に学習や体験の場を提供するものです。今年も、水泳・陸上・サッカー・インディアカ等の運動系、学習・パソコン・調理・英語活動・科学遊び等の学習系、さらには陶芸、手話・キャンピングファイア一等の体験系と26講座に延べ、600人の子も達が参加しました。今後も地域の力をいただき充実させたいと願っています。

セッション杉並 年末・年始の休館日

休館日
お知らせ
カレンダー

○印：高円寺地域区民センター
□印：和田区民集会所
△印：高円寺北区民集会所

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

次号152号は
1月20日
発行予定です